

秋の田の かりほの庵の 苔をあらみ  
わが衣手は 露にぬれつつ

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の  
衣干すてふ 天の香具山

あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の  
ながながし夜を ひとりかも寝む